

目的 マンションにおける生活騒音は、駐車場問題、ペット問題と並ぶ生活上の三大トラブルの一つである。特にフローリング騒音は、上下階の居住者におけるコミュニケーションの有無が大きく影響すると考えられる。そこで本研究は、マンションにおけるフローリング騒音の実態を調査し、その解決方法を明らかにすることを目的とする。

方法 大阪府に立地する協力が得られた、入居条件の異なるコーポラティブハウジング（以下、コーポと略す）2箇所と一般分譲マンション（以下、分譲と略す）1箇所の居住者を対象とした。調査内容は、隣近所との交際、騒音に関する苦情、我慢の有無と内容、管理組合の運営方法、防音性能の認識などである。調査方法は、直接に各戸訪問しアンケート調査を依頼した。回収は管理人室前の回収箱にて実施した。調査時期は、1993年10月から11月で、配布数193件、回収数130件と回収率67%である。

結果 ①建築年は、Aコーポが1983年、BコーポとC分譲が1985年である。住戸数は、それぞれ34戸、40戸、119戸と規模が小さく、コーポは中層で、分譲は高層である。内装床仕上は、コーポは支持脚付二重床下地フローリング仕上、分譲はフェルト下地カーペット仕上である。②調査対象者の概要は、世帯主40代から50代の核家族が主である。③上下階の居住者と親しくしているのはコーポ31%に較べて分譲14%と少ない。④コーポの方が26%と分譲16%より音を出さないように注意している人が多い。⑤床の防音性能についてよく知っているのは、分譲46%とコーポ15%に較べ高い割合である。⑥フローリング騒音の解決には、床材の防音性能の知識向上、近隣とのコミュニティ形成、住まい方への配慮が必要であろう。